

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【公表番号】特表 2007-515603 (P2007-515603A)

【公表日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【年通号数】公開・登録公報 2007-022

【出願番号】特願 2006-534172 (P2006-534172)

【国際特許分類】

F 1 6 H 48/30 (2006.01)

F 1 6 H 57/02 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 48/30 B

F 1 6 H 57/02 3 0 1 F

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 28 日 (2007.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筐体と、

上記筐体に回転可能に配置された入力軸と、

上記筐体に回転可能に配置された少なくとも 1 つの出力軸と、

上記筐体に配置され、上記入力軸と上記少なくとも 1 つの出力軸との間で回転力を伝達するギアセットと、

上記筐体内に配置された少なくとも 1 つの電気部品であって、作動装置とセンサとからなる群から各々が選択される電気部品と、

上記筐体に形成された孔を通して伸びると共に、上記少なくとも 1 つの電気部品と電氣的に接続する複数の電気端子を含む胴部を有する接続金具と、上記接続金具と上記筐体との間を密閉すべく該接続金具と該筐体との間に配置されたシール部材と、上記胴部および上記筐体を係合させて上記接続金具を上記筐体に保持させるロッキング部材とを有するコネクタと、を備え、

上記接続金具は、上記筐体の孔に流動体が入り込むことを防ぐ働きをする、上記胴部に連結されたフランジを備える動力伝達装置。

【請求項 2】

上記接続金具は、

上記ロッキング部材と係合する働きをする、上記胴部上に形成された第 1 の溝と、

上記シール部材を保持する働きをする、上記胴部上に形成された第 2 の溝とをさらに備える請求項 1 に記載の動力伝達装置。

【請求項 3】

上記ロッキング部材は、ベース部と、該ベース部から伸びる第 1 の脚部と、該ベース部から伸びる第 2 の脚部とをさらに含み、

上記第 1 の脚部および上記第 2 の脚部は、上記接続金具の上記胴部における上記第 1 の溝と係合して該接続金具を上記筐体に保持させる働きをする請求項 2 に記載の動力伝達装置。

【請求項 4】

上記ロッキング部材の上記ベース部は、上記胴部における上記第1の溝に形成された平面と接して、上記ロッキング部材が上記接続金具に対して回転することを防ぐ請求項3に記載の動力伝達装置。

【請求項5】

上記ロッキング部材の上記ベース部は、該ロッキング部材を上記筐体に取り外し可能に係合するネジ部品を受容する開口部をさらに規定する請求項3に記載の動力伝達装置。

【請求項6】

上記シール部材は、上記フランジと上記筐体との間を密閉する第1のシール部と、上記接続金具の上記胴部における上記第2の溝に配置された第2のシール部とをさらに備え、

上記第2のシール部は、上記胴部と上記ロッキング部材との間を密閉する請求項2に記載の動力伝達装置。

【請求項7】

上記シール部材は、上記接続金具の上記胴部における上記第2の溝の近傍に位置して、上記胴部と上記ロッキング部材とを密閉するように係合させるシール部をさらに備える請求項2に記載の動力伝達装置。

【請求項8】

上記コネクタに連結されたワイヤハーネスをさらに備え、

上記ワイヤハーネスは、上記少なくとも1つの電気部品から発信された信号を他の装置に伝達するように構成されている請求項1に記載の動力伝達装置。

【請求項9】

回転力の供給源である伝動機構と、該伝動機構から回転力を受け取る動力伝達機構とを備える自動車であって、

上記動力伝達機構は、

筐体と、

上記筐体に回転可能に配置された出力軸と、

上記筐体に配置され、上記回転力の少なくとも一部を受け取って上記出力軸に伝達するギアセットと、

上記筐体内に配置された、作動装置とセンサとからなる群から選択される電気部品と、

上記筐体に形成された孔を通して伸びると共に、上記少なくとも1つの電気部品と電気的に接続する複数の電気端子を含む胴部を有する接続金具と、上記接続金具と上記筐体との間を密閉すべく該接続金具と該筐体との間に配置されたシール部材と、上記胴部および上記筐体を係合させて上記接続金具を上記筐体に保持させるロッキング部材と、上記胴部と上記ロッキング部材とを密閉するように係合させる上記シール材とを有するコネクタと

上記コネクタに接続され、上記電気部品に出力信号を送信し、上記電気部品または両者から入力信号を受信するように構成されたコントローラと、を含む自動車。

【請求項10】

上記接続金具は、

上記筐体の孔に流動体が入り込むことを防ぐ働きをする、上記胴部に連結されたフランジと、

上記ロッキング部材と係合する働きをする平面を含む、上記胴部上に形成された第1の溝と、

上記シール部材を保持する働きをする、上記胴部上に形成された第2の溝とをさらに備える請求項9に記載の自動車。

【請求項11】

上記ロッキング部材は、ベース部と、該ベース部から伸びる第1の脚部と、該ベース部から伸びる第2の脚部とをさらに含み、

上記第1の脚部および上記第2の脚部は、上記接続金具の上記胴部における上記第1の溝の上記平面と係合して該接続金具を上記筐体に保持させると共に、上記ロッキング部材が上記接続金具に対して回転することを防ぐ働きをする請求項10に記載の自動車。

【請求項 1 2】

上記ロッキング部材の上記ベース部は、該ロッキング部材を上記筐体に取り外し可能に係合するネジ部品を受容する開口部をさらに規定する請求項 1 1 に記載の自動車。

【請求項 1 3】

上記シール部材は、上記フランジと上記筐体との間を密閉する第 1 のシール部と、上記接続金具の上記胴部における上記第 2 の溝に配置された第 2 のシール部とをさらに備え、

上記第 2 のシール部は、上記胴部と上記ロッキング部材との間を密閉する請求項 1 0 に記載の自動車。

【請求項 1 4】

上記シール部材は、上記接続金具の上記胴部における上記第 2 の溝の近傍に位置して、上記胴部と上記ロッキング部材とを密閉するように係合させるシール部をさらに備える請求項 1 0 に記載の自動車。

【請求項 1 5】

筐体と、

上記筐体に回転可能に配置された入力軸と、

上記筐体に回転可能に配置された少なくとも 1 つの出力軸と、

上記筐体に配置され、上記入力軸と上記少なくとも 1 つの出力軸との間で回転力を伝達するギアセットと、

上記筐体内に配置された少なくとも 1 つの電気部品であって、作動装置とセンサとからなる群から各々が選択される電気部品と、

上記筐体に形成された孔を通して伸びると共に、上記少なくとも 1 つの電気部品と電気的に接続する複数の電気端子を含む胴部を有する接続金具と、上記接続金具と上記筐体との間を密閉すべく該接続金具と該筐体との間に配置されたシール部材と、上記胴部および上記筐体を係合させて上記接続金具を上記筐体に保持させるロッキング部材とを有するコネクタと、を備え、

上記接続金具は、

上記筐体の孔に流動体が入り込むことを防ぐ働きをする、上記胴部に連結されたフランジと、

上記ロッキング部材と係合する働きをする平面を含む、上記胴部上に形成された第 1 の溝と、

上記シール部材を保持する働きをする、上記胴部上に形成された第 2 の溝と、を含み、

上記ロッキング部材は、上記接続金具の上記胴部と係合して該接続金具を上記筐体に保持させるように構成された少なくとも 1 つの突起部を含む動力伝達装置。

【請求項 1 6】

上記ロッキング部材は、該ロッキング部材を上記筐体に取り外し可能に係合するネジ部品を受容する開口部をさらに規定する、上記少なくとも 1 つの突起部に連結されたベース部をさらに含み、

上記少なくとも 1 つの突起部は、上記接続金具の上記胴部における上記第 1 の溝の上記平面と係合して該接続金具を上記筐体に保持させると共に、上記接続金具が上記ロッキング部材に対して回転することを防ぐ働きをする請求項 1 5 に記載の動力伝達装置。

【請求項 1 7】

上記シール部材は、上記フランジと上記筐体との間を密閉する働きをする第 1 のシール部と、上記接続金具の上記胴部における上記第 2 の溝と連結する働きをする第 2 のシール部とをさらに備え、

上記第 2 のシール部は、上記胴部と上記ロッキング部材との間を密閉する働きをする請求項 1 5 に記載の動力伝達装置。

【請求項 1 8】

上記シール部材は、上記接続金具の上記胴部における上記第 2 の溝と連結する働きをするシール部をさらに備え、

上記シール部は、上記胴部と上記ロッキング部材との間を密閉する働きをする請求項 1

5に記載の動力伝達装置。

【請求項 19】

上記コネクタは、車両のワイヤハーネスと連結して、上記少なくとも1つの電気部品から発信される信号の上記ワイヤハーネスへの伝達を可能にする働きをする請求項 15に記載の動力伝達装置。